

## 小麦チクゴイズミの早期収穫のための 播種適期と施肥法

農業研究センター 農産園芸研究所 作物部  
担当者：井手 眞一

### 研究のねらい

本県の小麦(チクゴイズミ)の慣行播種期は11月下旬である。この場合、成熟期が梅雨期に遭遇し、収量、品質が著しく低下する事例が多くみられた。また、「チクゴイズミ」は蛋白質含有率が低く、蛋白質含有率の向上が重要な課題であった。そこで、成熟期を梅雨前の5月内にし、収量、品質を安定させるための播種期を解明するとともに、蛋白質含有率を向上させるための施肥法を開発する。

### 研究の成果

1. 「チクゴイズミ」を11月5日～15日に播種すると、5月内の収穫が可能である(表1)。
2. 11月5日播種では、凍霜害(幼穂の凍死・不稔)が年によっては発生し、著しい収量の低下がみられるので、11月中旬が播種の早限である(表1)。
3. 播種時期が早くなるほど蛋白質含有率が低下する傾向にある(図1)。
4. 蛋白質含有率の向上のためには、穂ばらみ期あるいは出穂後10日目の追肥が有効であり、出穂後25日目でもその効果が認められ、倒伏の程度も軽い(表2)。
5. 穂ばらみ期あるいは出穂後10日目の追肥量は、窒素成分でa当たり0.2～0.4kgで10～11%台の蛋白質含有率が確保される(表2)。

以上のことから、「チクゴイズミ」を播種期を11月中旬とし、穂ばらみ期あるいは出穂後10日目の追肥を行うと収量、品質が安定する。

### 普及上の留意点

1. 11月初旬の播種は、凍霜害に遭遇しやすく、蛋白質含有率が低下しやすいので避ける。
2. 蛋白質含有率を向上させる追肥の効果は、慣行の施肥量に加えて、穂ばらみ期あるいは出穂後10日目に施用しないとやや低くなる。

表1 播種時期の違いによる収量、品質の差（播種量0.5kg/a）

| 収穫年度 | 播種期<br>月・日 | 成熟期<br>月・日 | 子実重<br>kg/a(標準比) | 検査<br>等級 | 不稔穂<br>率% |
|------|------------|------------|------------------|----------|-----------|
| 12年産 | 11.5       | 5.29       | 52.2(104)        | 1        |           |
|      | 11.15      | 6.2        | 51.2(104)        | 1        |           |
|      | 11.25      | 6.6        | 50.4(100)        | 2        |           |
| 13年産 | 11.5       | 5.20       | 19.3(33)         | 4        | 52.3      |
|      | 11.15      | 5.28       | 47.6(81)         | 1        | 16.1      |
|      | 11.25      | 6.2        | 59.1(100)        | 1        | 1.4       |
| 14年産 | 11.5       | 5.23       | 48.7(92)         | 1.5      |           |
|      | 11.15      | 5.27       | 51.6(98)         | 1.5      |           |
|      | 11.26      | 5.30       | 52.7(100)        | 2.5      |           |

; 1(1等上)~7(規格外)

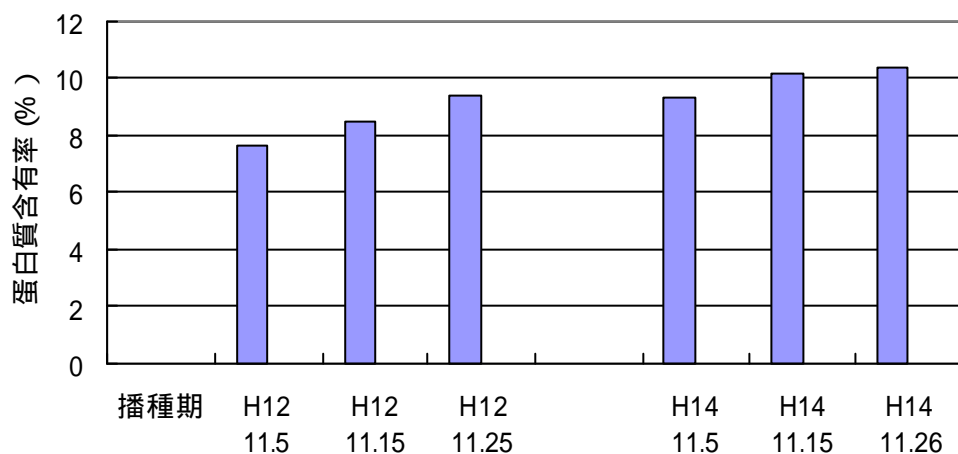


図1 播種期の違いによる蛋白質含有率の変動

表2 施肥法の違いによる蛋白質含有率への影響

平成14年産（11月9日播種 播種量0.5kg/a）

| 施肥法<br>(窒素成分kg/a)           | 蛋白質<br>含有率% | 子実重<br>kg/a(標準比) | 倒伏  | 成熟期<br>(月・日) |
|-----------------------------|-------------|------------------|-----|--------------|
| 基肥 1月下旬 2月下旬 穂孕期 出穂後10日目    |             |                  |     |              |
| 1(標) 0.5+0.2+0.2            | 9.6         | 53.5(100)        | 2.0 | 5.25         |
| 2 0.5+0.2+0.2+0.2           | 10.8        | 59.0(110)        | 3.5 | 5.25         |
| 3 0.5+0.2+0.2 +0.2          | 10.5        | 54.0(101)        | 3.0 | 5.26         |
| 4 0.5+0.2+0.2+0.4           | 11.1        | 51.2(96)         | 2.0 | 5.26         |
| 5 0.5+0.2+0.2 +0.4          | 11.1        | 50.5(94)         | 0.5 | 5.26         |
| 6 0.5+0.2+0.2 +0.2(出穂後20日目) | 10.4        | 54.8(102)        | 1.0 | 5.26         |
| 7 0.5+0.2+0.2 +0.2(出穂後25日目) | 11.1        | 53.3(100)        | 1.0 | 5.26         |
| 8 1.1(肥効調節型肥料)              | 9.6         | 51.2(96)         | 1.0 | 5.25         |
| 9 0.5+0.2 +0.2              | 9.9         | 50.8(95)         | 2.5 | 5.25         |

; 0(無)~5(甚)

; LP40:40%・LP30:30%・速効性:30%